

施策番号	1402		
施策名	自立した地域生活への移行促進		
概要	障害のあるひとが地域社会のなかで安心してくらすための保健医療施策を充実させるとともに、福祉施設や精神科病院から地域生活への移行を促進する。		
担当局・部室	保健福祉局・障害保健福祉推進室	共管局・部室	
上位政策	14 障害者福祉		
施策に関する主な分野別計画等	支えあうまち・京都ほほえみプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1 居宅介護等の利用時間数(時間)	a	a	153,786	165,111	113,000	146.1%	a	1.00	
2 グループホーム等の利用者数(人)	a	a	645	699	645	108.4%	a	1.00	
3 自立支援医療の受給者数(人)	a	a	30,489	33,574	30,489	110.1%	a	1.00	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも書えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 障害のあるひとが、みずから必要な福祉サービスを選択し利用することで、住み慣れた地域でくらしやすくなっている。	29 6.5%	89 19.8%	203 45.2%	85 18.9%	43 9.6%	449	c	
2							-	
3							-	
4							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価								c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					26年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 障害のあるひとの自立した地域生活移行を促進するという、対象が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						25年度	B
(原因分析) 【客観指標】●居宅介護等の利用時間数及びグループホーム等の利用者数については、障害のあるひとの地域生活への移行が進んだことに伴い、在宅生活を支える福祉サービスの利用時間数やグループホームの利用者数が増加したことにより、3年連続a評価と高い評価で安定している。 ●自立支援医療の受給者数については、障害のある人の増加に伴い、受給者数が年々増加しており、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】障害のあるひとの地域生活に対する関心と理解が十分に広がっておらず、昨年度に引き続きc評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	重度心身障害者医療費支給事業	2,371,588	2,459,310	良い	保健福祉局
2	外国籍市民重度障害者特別給付金支給事業	19,173	22,911	普通	保健福祉局
3	心身障害児(者)訪問療育指導事業	11,463	11,493	普通	保健福祉局
4	在宅心身障害児(者)療育支援事業	24,828	26,426	普通	保健福祉局
5	障害児通園(児童デイサービス等)事業運営補助	41,348	35,355	良い	保健福祉局
6	心身障害児者レスパイトサービスモデル事業(元気家族リフレッシュサポート)	14,614	15,685	良い	保健福祉局
7	介護従業者研修	2,700	1,923	良い	保健福祉局
8	障害児者ホームヘルプサービス(家庭奉仕員)	346,910	347,583	普通	保健福祉局
9	京都国際社会福祉センター運営補助	1,935	1,954	良い	保健福祉局
10	身体障害者福祉会館運営	113,147	107,755	良い	保健福祉局
11	京都ライトハウス運営助成	132,554	132,554	普通	保健福祉局
12	身体障害者療護施設運営補助	53,264	44,483	良い	保健福祉局
13	盲人ホーム運営助成	8,056	8,056	良い	保健福祉局
14	民間障害福祉施設運営助成	351,663	356,527	良い	保健福祉局
15	児童療育センター運営事業	46,060	47,445	良い	保健福祉局
16	精神科救急医療システム	93,465	101,491	良い	保健福祉局
17	地域精神保健福祉対策	10,193	10,735	かなり良い	保健福祉局
18	精神科病院実地指導・実地審査	10,714	10,857	良い	保健福祉局
19	障害者地域生活支援センター運営事業	454,552	456,308	かなり良い	保健福祉局
20	障害児・者福祉サービス利用支援策「新京都方式」	269,926	285,005	-	保健福祉局
21	京都市障害児タイムケア事業	84,990	85,439	普通	保健福祉局
22	障害者自立支援医療特別対策	31,148	34,872	良い	保健福祉局
23	発達障害児支援事業	24,189	24,189	良い	保健福祉局
24	こころのサポート地域活動助成事業	28,508	36,581	普通	保健福祉局
25	あんしん生活緊急サポート事業	7,983	7,069	かなり良い	保健福祉局
26	軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費助成事業	2,599	2,999	悪い	保健福祉局
27	児童福祉センター療育事業委託	121,378	121,378	悪い	保健福祉局
28	心身障害児者総合支援事業	1,923	1,924	かなり良い	保健福祉局
29	福祉ホーム運営補助(身体・精神)	8,655	12,200	普通	保健福祉局
30	放課後等デイサービス等設置促進事業	13,063	21,378	良い	保健福祉局

31	発達障害者支援センター運営事業	80,586	81,460	かなり良い	保健福祉局
32	重度障害者等利用事業所支援事業	56,274	166,234	悪い	保健福祉局
33	地域リハビリテーションの推進及び高次脳機能障害者支援の実施	12,827	102,141	良い	保健福祉局
34	京都市若杉学園	178,824	177,102	良い	保健福祉局
35	地域リハビリテーション推進センター（旧：身体障害者リハビリテーションセンター）	878,224	486,154	悪い	保健福祉局
36	聴覚言語障害センター管理運営	84,498	83,590	－	保健福祉局
37	飛鳥井学園管理運営	8,921	8,921	－	保健福祉局
38	京都市健康増進センター（ヘルスピア21）	59,607	59,095	－	保健福祉局
39	京都市子ども保健医療相談・事故防止センター（京（みやこ）あんしんこども館）	49,183	48,982	－	保健福祉局
40	動物愛護センター（仮称）整備事業	518,546	－	－	保健福祉局

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 障害のあるひとの自立した地域生活への移行を促進するため、一人一人のニーズに応じたサービス提供を行うとともに、家族の介護負担を軽減する観点からも、きめ細やかな在宅生活支援施策の実施や、グループホーム・ケアホームの設置促進等に努めていく。
- また、サービス利用等に当たって、必要な情報を提供し、自己選択・自己決定が可能となるよう相談支援の環境を整えていく。

施策名	1402	自立した地域生活への移行促進
-----	------	----------------

指標名	居宅介護等の利用時間数（時間）
-----	-----------------

担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	222-4161
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

障害のある方に対する居宅介護等事業（ホームヘルパーの派遣）の一月当たりの利用時間数

2 指標の意味

障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた居宅介護の進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：年間延べ利用時間数÷12月
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	25年度	26年度		数値	根拠	
数値	153,786	165,111	11,325時間増	113,000	平成21年度現況値（91,932）を基に、今後の各年度推計利用者数の伸び率を乗じて算出	146.1%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
				根拠	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

目標値に対する達成度が100%以上をa，以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

25	26	27
a	a	a

指標名	グループホーム等の利用者数（人）
-----	------------------

担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	222-4161
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

グループホーム・ケアホーム・福祉ホームの利用者（支給決定者）数

2 指標の意味

障害がある方の自立した地域生活への移行に資する各種ホームの活用状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：グループホーム等利用者全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	25年度	26年度		数値	根拠	
数値	645	699	54人増	645	過去最高値	108.4%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
				根拠	

5 評価基準

最新数値が
a：過去最高値以上
b：過去最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上
c：上中間値未満～平均値以上
d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上
e：下中間値未満

6 基準説明

当該指標については民間部門の寄与度が高いため、過去3年間の数値を基に、最高値以上をa，平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
最高値：645人（平成25年度）
平均値：616人
最低値：586人（平成23年度）

7 評価結果

25	26	27
a	a	a

施策名	1402	自立した地域生活への移行促進				
指標名	自立支援医療の受給者数（人）					
担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	222-4161			
1 指標の説明						
自立支援医療費（更生医療，育成医療，精神通院医療）の受給者数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた医療費給付による支援状況を示す指標			算出方法：各医療の受給者全数調査 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	30,489	33,574	3,085人増	30,489	過去最高値	110.1%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値						
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値が a：過去最高値以上 b：過去最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満		当該指標については、障害のある方の増加に伴い、医療の受給者数も増加が見込まれることから、過去4年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：30,489人（平成25年度） 平均値：28,607人 最低値：26,565人（平成22年度）		25	26	27
				a	a	a